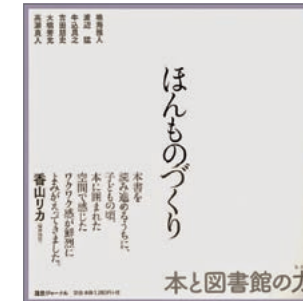


新刊紹介



ほんものづくり 本と図書館の力

著者：鳴海雅人、渡辺猛、
牛込具之、吉田朋史、
大橋秀允、高瀬真人
発行：企業組合建築ジャーナル
仕様：A5変形版/260ページ
定価：1,200円(税別)

「ほんものづくり」って何？
「ほんもの」って一体何を言うの
だろう。

「ほん」を入れる容器としての
「もの」である図書館をつくる建築
家たちによる、「ほん」づくりへの
挑戦、すなわち「ほんづくり」+「も
のづくり」=「ほんものづくり」の
記録であるとのこと。図書館の設
計をとおして、人と本が出会う場
所である「図書館」の役割を問い
直すのが本書の骨格らしい。

近年図書館の設計を多く手がけ
ている(株)佐藤総合計画に所属する
鳴海雅人氏、渡辺猛氏、牛込具之
氏、吉田朋史氏、大橋秀允氏、高
瀬真人氏の6人の建築家がそれぞ
れの立場や経験場から図書館建築
が担うべき社会的役割、機能、設

計者の責任を語っている。

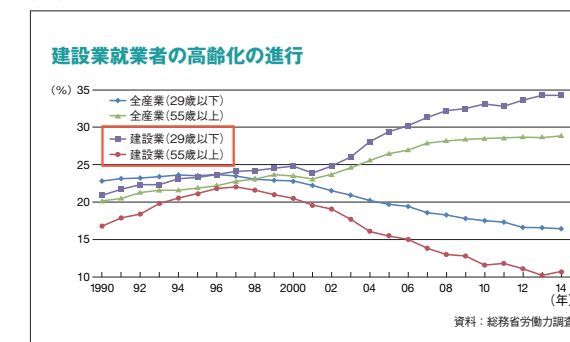
著者の一人、鳴海雅人氏は本書
について、「人間が多彩なコミュ
ニケーションをとる重要な空間の
ひとつが図書館である」と指摘し、
「6人の著者は、本に関わる『もの
づくり』の空間『ほんもの』を描く」
と言っている。

あわせて、昨今電子書籍の普及
が進んでいるからこそ「図書館の
設計に具体的に関わった経験者に
しかわからない出来事を語ること
が今最も必要」(鳴海氏)と、同社
に所属する15人の建築家が自ら
の作品を例に図書館の役割や設計
上の工夫を記した「ほん図書館
づくり」、14人のインテリアプラ
ンナーによる書架や家具に関する
エッセイが掲載されている。

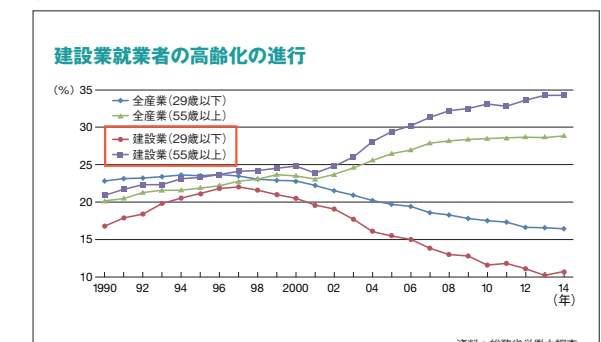
お詫びと訂正

「ACe 建設業界」2015年5月号P06凡例において、「建設業(29歳以下)」と「建設業(55歳以上)」の表示に誤りがございましたので、下記の通り訂正いたします。

(誤)



(正)



※建設業従事者は、全産業に比べ29歳以下の大幅な減少、55歳以上の大幅な増加が顕著になっている。

読者の皆様、関係者の皆様にご迷惑をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。